

基調講演



「スパコン利活用で
貴社ビジネスに人工知能破壊
(AIによる破壊的イノベーション)
を起こす！」

村上 和彰

九州大学名誉教授
公益財団法人九州先端科学技術研究所 副所長
株式会社チーム AIBOD 創業者&技術顧問
株式会社あしたの学び Lab 創業者&代表取締役

【自己紹介】

1984年 京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。京都大学博士（工学）
1984年 富士通株式会社入社、本体事業部にて汎用大型計算機のアーキテクチャ開発に従事
1987年 九州大学工学部助手、1994年 助教授、2000年 教授
一貫してコンピュータシステムアーキテクチャの教育研究に従事。
2004年～2008年 九州大学情報基盤センター（現 情報基盤研究開発センター）センター長
2007年 九州大学情報統括本部を設立 初代本部長（～2008年）

2000年より 財団法人九州システム情報技術研究所（ISIT）第1研究室長兼務
2008年より 公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）副所長兼務

2007年～2015年 文部科学省情報科学技術委員会委員
2010年～2016年 文部科学省 HPCI 計画推進委員会委員
2008年～2016年 サイエンティフィック・システム研究会（SS研）会長

2015年末 国立大学法人九州大学を早期退職
2016年2月に株式会社チーム AIBOD、同年6月に株式会社あしたの学び Lab を設立

【講演概要】

「人工知能破壊」。貴社がいま挑戦すべきビジネス課題である。巷で騒がれている IT 革命、デジタル革命、デジタル破壊すべてを包含するコンセプトであり、これまた巷で騒がれている人工知能、IoT を駆使して引き起こす破壊的イノベーションである。

なぜ貴社が「人工知能破壊」を起こさなければならないか？それはもし貴社が自ら「人工知能破壊」を起こさなければ、貴社の現在のビジネス、マーケットが他社の「人工知能破壊」により文字通り破壊されてしまうからである。

では、どうすれば貴社が「人工知能破壊」を起こせるか？それには（少なくとも）50通りの方法がある。本講演でその中から5つの方法を、特にスパコン利活用の観点から厳選して紹介する。